

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いやし屋本舗

作成日: 令和 3 年 11 月 17 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	今年度はコロナ禍の下、利用者と職員で開催しているが、外部の委員との関係が途切れないよう、コミュニケーションに努めていく。また、コロナ収束後には、参加委員を増員し、多方面からの情報収集と活発な意見交換が出来る会議を目指していく。	電話やメール、書面等で外部委員からの意見や情報を収集して議事録にまとめる等、交流を通して関係を継続していく。また、民生委員を始め、地域住民、元家族、薬剤師や歯科衛生士等、幅広く委員を募り、ホームの問題だけでなく、地域の課題にも話し合える会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	夜勤者が1名の夜間帯の避難訓練を繰り返し行い、非常時に慌てずに落ち着いて行動できるように検討していく。	夜間想定訓練を夜勤者中心に繰り返し行い、職員が夜勤者と利用者役に分かれて実際に1名で9名の利用者を避難誘導する体験を行い、非常時の動きを身につけていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。